

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 20 日現在

機関番号：12101

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23320178

研究課題名(和文)ライデン大学所蔵シーボルト収集古地図の研究 江戸時代の地図による日蘭学術交流

研究課題名(英文)Studies on maps collected by Philipp Franz Balthasar von Siebold - Japanese-Dutch academic exchange through early modern maps-

研究代表者

小野寺 淳 (Onodera, Atsushi)

茨城大学・教育学部・教授

研究者番号：90204263

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,600,000円、(間接経費) 3,480,000円

研究成果の概要(和文)：ライデン大学図書館所蔵シーボルトコレクションのうち、3つの目録を対比分析した結果、シーボルト第一次来日時に収集した古地図は69点(重複を除く)に絞ることができた。これらの古地図を日本に現存する古地図と比較し、シーボルトコレクション所蔵の古地図の特色を明確にするように努めた。この結果、江戸幕府撰元禄国絵図以前の内容をもとに模写された手書き彩色の国絵図が22点含まれ、大名所蔵の地図も含まれていたことが明らかになった。また最上徳内から複数の蝦夷図を入手し、このうち1点には針穴が見られることを確認した。さらに現在国内に現存しない版の出版図が含まれていることが明らかになった。

研究成果の概要(英文)：As a consequence of comparative analysis of three catalogs about Siebold Collection in Leiden University Library, there are 69 maps that were collected during his first visit to Japan. We tried to compare these maps to similar maps in Japan in order to make clear characteristics of the collection. As a result, 22 hand-copied Kuni-ezu that were made before Genroku period. In addition, it became clear that maps used to belong to Daimyo. Furthermore, Siebold got Ezo-zu from Mogami Tokunai. One Ezo-zu had needle holes. Several editions of published maps includes that not exist anymore in Japan.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：人文地理学

キーワード：オランダ シーボルト ライデン大学 古地図 絵図

1. 研究開始当初の背景

オランダ、ライデン大学図書館所蔵シーボルトコレクションに含まれた地図群は、134点余である。この中には江戸時代に作成された貴重な地図が含まれている。しかし、研究者が個人的に関心を持った地図を個別に研究したものが多く、一つの地図群として扱われなかったため、シーボルトがいかなる関心から、いかにしてこれらの地図を収集したかの全体像を把握することができなかった。とりわけ、江戸幕府の文庫蔵で保管された手書き彩色の江戸幕府撰国絵図を、写本とはいえ、いかに入手することができたのかは、未解明のままであった。

2. 研究の目的

本研究では、シーボルトがいかなる関心から、いかにして地図を収集し、シーボルト収集地図群を形成したか、その全体像を把握することを目的とする。このため、(1)ライデン大学図書館でシーボルト収集地図の紙質・色料、表現様式などの原本調査と撮影を行う。(2)シーボルト収集地図の作成年(あるいは出版年)、作成者(あるいは画工など)、作成目的、伝来などを日本国内に残る類似の地図と比較研究し、その特色を解明する。加えて、シーボルト『日本』などの著作の中で、日本で収集した地図群がいかに利用されたかを検討する。(3)その上で、シーボルト収集地図群の体系と個々の地図の研究成果を和文・英文でまとめ、現地の研究者などとの交流を通して、ライデン大学図書館ホームページから世界に発信していくことを目標とした。

3. 研究の方法

調査グループには、研究分担者・連携研究者に加え、研究協力者として川村博忠、野積正吉、三好唯義、小野田一幸、尾崎久美子、橋本暁子に参加いただいた。

23年度はライデン大学図書館に訪問し、シーボルト収集古地図の表現様式、紙質・色料などの原本調査と撮影を行った。ライデン大学図書館とメールで打ち合わせをした結果、11月下旬から12月上旬にかけて2つのグループに分けて出張することになり、各々5日間で152点の原本調査を行うことができた。貸出中などがあったが、当初予定した所蔵古地図の約90%の撮影と原本調査が完了した。これら古地図の撮影画像と調査票を整理し、研究分担者を始めとする調査メンバーに送付し、各自で個々の古地図調査を始めた。なかでも、蝦夷図や樺太図については既往の研究成果が多いので、これらの論文と、今回の原本調査との相違をいち早く検討した。すでに指摘されている最上徳内や高橋景保から寄贈された地図をチェックし、このうち間宮林蔵が作製し、最上徳内からシーボルトへ寄贈されたと記載されている「黒龍江中之洲並天度」(Ser.215, 31.5×71.8)には無数の針穴と、輪郭にヘラ押し線があることを新たに発見することができた。

24年度は、ライデン大学図書館所蔵シーボルトコレクションの古地図と類似する国内の古地図との比較研究を中心に実施した。大別すると、(1)大名旧蔵の古地図との比較研究、(2)刊行図の比較研究である。

(1)たとえば、臼杵城主稲葉家のように、大名が地図収集を行った例が知られるようになった。この例として、本年度は篠山城主青山家、出石城主仙石家を科研メンバーで合同調査を実施した。とくに青山家旧蔵の古地図は状態が悪かったため、補修をして調査を行った。

(2)刊行図については、下記の所蔵機関で調査を行った。北海道大学附属北方資料室・函館市立中央図書館・仙台市立博物館・東北大学附属図書館、宮城県図書館、福島県

歴史資料館, 米沢市立上杉博物館・船橋市立西図書館・岐阜県図書館・京都府立総合資料館・神戸市立博物館・長崎歴史文化博物館・長崎市立シーボルト記念館

以上の調査を実施した中で, 岐阜県図書館では, シーボルト所蔵印を押された長久保赤水「改正日本輿地路程全図」を見出し, シーボルト収集古地図の中には海外へ流出したものが明らかになった。また, 1845年のシーボルトとホフマン, 1896年のセルリエ, 1996年のカーレン, これら3つの目録を対照し, ライデン大学図書館シーボルトコレクションの中にはブロムホフとフィッセルのコレクションが混じっているが, 第一次来日時に収集した古地図類をおおむね特定することができた(小田匡保, 2013)。

25年度は, これまでの成果をもとに国際学会(IGU)で報告した。さらに, 2013年9月にライデン大学図書館に赴き, シーボルト第一次来日時に収集古地図の再度の確認ならびに23年度の調査が不十分であった古地図の原本調査・撮影を実施した。当初の計画ではライデン大学図書館で公開シンポジウムとポスター展示を予定していたが, 先方のご都合もあり, 開催することができなかった。年度末の2014年3月22日には宮崎県日南市国際交流センター小村寿太郎記念館にて研究報告ならびに資料収集を行った。

以上の成果をもとに, シーボルト第一次来日時に収集した古地図を69点(重複を除く)に絞り, 詳細な原本調査に基づく研究成果をまとめた。研究成果の公表は, 当初目標としたライデン大学図書館ホームページではなく, ライデン大学図書館から英文の要約を付した出版物での申し出があり, 公表の内諾を得ているので, 出版助成金を申請し, 出版したいと考えている。

4. 研究成果

シーボルトの第一次来日時ににおける古地

図のなかには, 江戸幕府撰元禄国絵図以前の内容をもとに模写された手書き彩色の国絵図が22点含まれ, また最上徳内から入手した複数の蝦夷図, さらに当時の出版図などであったことが明らかになった。これらの中には, 大名所蔵の地図も含まれていたことも明らかになった。

これら第一次来日時に収集した古地図のうち, 手書き彩色国絵図22点に加えて, Ser. 168, 180, 181, 186, 194, 204, 205, 213, 215, 219, 220, 221, 222, 228, 232, 259, 261, 263, 264, 268, 272, 274, 276, 278, 279, 285, 307, 309, 310, 312, 315, 316, 317, 325-332, 337, 341, 344, 347, 354, 358, 390の41点について, 研究分担者・連携研究者・研究協力者で分担して原稿を作成, さらに要旨とその英訳を作成した。このうち, 研究成果を示す例として, 特色ある地図3点を取り上げ, 以下に要旨とその英訳を記載する。なお, 英訳の絵図名はセルリエの目録に記載されている図名である。

Ser. 215 黒龍江中之洲並天度

間宮林蔵が1808年から2度にわたる測量調査に基づいて作製したカラフト島の図の写しである。最上徳内から江戸参府中のシーボルトに贈られたと考えられる。写しの根拠は, 緯度・経度ならびに輪郭にへら押し線が見られ, また河口や海岸線に約3~5mm間隔に針穴が見られる点である。この図は, シーボルト著『日本』にTab. XXとして掲載されたことでも知られている。和歌山藩に旧蔵されていた「黒龍江中之洲並天度」は北海道大学附属図書館北方史料室に, この模写図は明治大学図書館蘆田文庫に所蔵されている。しかし, 両図にはへら押し線と針穴は見られない。

Ser. 215 Kok'-riu-kou tsiu no siu narabi ni ten-do

This is a copy of the Karafuto Island maps prepared by Rinzo Mamiya; it is based on

his two land survey trips conducted in 1808. It is believed to have been presented by Tokunai Mogami to Siebold during the latter's obligatory visit to Edo. The map is considered to be a copy because of the line marks made with a spatula along the meridians, parallels, and contours, and there are needle holes observed every 3-5 mm along the coastlines and river mouths. This map was listed in volume VII of "Nippon" by Siebold in Table XXV. "Kok'-riu-kou tsiu no siu narabi ni ten-do," originally owned by the old Wakayama Domain, is now included in the Northern Studies Collection of Hokkaido University Library; a copy is owned by Ashida Bunko of Meiji University Library. Neither of them not have spatula marks or needle holes. (Atsushi Onodera)

Ser.220 改正日本輿地路程全図

長久保赤水は「改正日本輿地路程全図」を1779年に刊行した。縮尺は10里(約40km)を1寸(約3cm)とし、約129万6千分の1の縮図に緯線と方位を示す方角線を描く。シーボルトによれば、歴史・地誌に研究に役立つ、18世紀後半に作製された日本図の見本と評している。ライデン大学には8点の「改正日本輿地路程全図」があり、このうち3点にシーボルトの蔵書印が押されている。1779年春刊行の図は伊豆諸島の黒潮をオランダ語で記述し、長崎を中心に朱筆でローマ字の地名が記されている。他の2点は1811年版であり、1点には針穴があり、1点にはブロムホフコレクションの注記がある。このほか、岐阜県図書館にもブロムホフよりの入手印とシーボルトの蔵書印が押された1811年版が所蔵されている。

Ser.220 Kai-sei Nippon yo-tsi ro-tei zen-dzu

This map was published by Sekisui Nagakubo in 1779. It was created on a scale of approximately 1/1,296,000, where 1 sun (approx. 3 cm) represents 10 ri (approx. 40 km), with parallels and lines to indicate direction. Siebold described this map as a useful tool for historical and topographical research, referring to it as the model for Japanese maps made in late 18th century. Of the eight pieces of Kai-sei Nippon yo-tsi ro-tei zen-dzu owned by Leiden University, three have the seal of Siebold. The one published in the spring of 1779 includes the Dutch description of the Kuroshio Current running along the Izu Islands, in addition to location names labeled in red Roman letters in the regions centered around Nagasaki. The other two versions were published in 1811; one has needle holes and the other has a note that indicates it originated from the Blomhoff Collection. An 1811 version is owned by the Gifu Prefectural Library; it also has the seal of Siebold and a stamp indicating that the map was obtained from Blomhoff. (Atsushi Onodera)

Ser.232 大坂川口ヨリ長崎迄舟路

1枚ものの折り畳みであるが、本来は巻物であったと考えられ、最初に「大坂川口ヨリ長崎迄舟路 二百十七里」と記載されている。手書きの瀬戸内海航路図であり、里程を墨書きした太い朱線の航路と、その他の細かい朱線の沿岸航路を図示する。墨書の漢字で記された地名には、朱筆でカタカナとオランダ語がおおむね併記されている。大坂の安治川河口の中之島から瀬戸内海を西へ、下関から小倉、さらに平戸瀬戸を通り、「築嶋」と記された出島まで太い朱線の航路が引かれている。このことから、太い朱線はオランダ商館長が江

戸参府する際の瀬戸内海航路といえよう。

Ser.232 Ohosaka no kawa-gutsi yori
Nagasaki made no sen-ro

Though the map appears folded today, it is originally thought to have been rolled. There is a description in the initial section which reads “217 ri by ship from the river mouth of Osaka to Nagasaki.” This is a hand-drawn chart of the Seto Inland Sea consisting of the main route shown as a thick red line, with distances labeled in black ink and other coastal routes shown as thin red lines. Most of the location names are labeled in Chinese characters with black ink and are accompanied by katakana readings and Dutch labels in red ink. The thick red line starts at the Nakanoshima in the mouth of the Aji River in Osaka, progresses through the Seto Inland Sea westward, passes Shimonoseki, Ogura and Hiradoseto, and finally reaches Dejima, which is designated as “Tsukishima.” Based on this information, the red line is supposed to represent the route through the Seto Inland Sea taken by heads of the Dutch trading house when they visited Edo. (Atsushi Onodera)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 2 件)

渡辺理絵・小野寺淳「鶴岡城下絵図の精度に関する GIS 分析-致道博物館蔵・延宝 6 年「鶴ヶ岡城下絵図」を例に-」平井松午・安里進・渡辺誠編『近世測量絵図の GIS 分析』古今書院, pp.225-236, 2014.(査読無)

小田匡保「オランダにおけるシーボルト第一次来日時収集地理資料の現存状況」駒澤地理 No.49 pp.93~112, 2013.(査読無)

〔学会発表〕(計 9 件)

野積正吉・小野寺淳「シーボルト第一次収集古地図の概要」35 回国絵図研究会(日南市国際交流センター小村寿太郎記念館), 2014.3.22.

Onodera.A, Oda.M, Oshima.N “ Maps in Early Modern Japan Collected by Philipp Franz Balthasar von Siebold ” IGU Kyoto, (国立京都国際会館) 2013.8.7

小田匡保「オランダにおけるシーボルト第一次来日時収集地理資料の現存状況」33 回国絵図研究会(豊岡市神美台スポーツ公園管理センター), 2013.3.23.

野積正吉「シーボルト収集能登国絵図と松平本について」32 回国絵図研究会(長崎歴史文化博物館), 2012.9.15.

小野寺淳「シーボルト収集のカラフト図をめぐって」32 回国絵図研究会(長崎歴史文化博物館), 2012.9.15.

上杉和央「シーボルトが持ち帰った出版図」32 回国絵図研究会(長崎歴史文化博物館), 2012.9.15.

小野寺淳・平井松午・小田匡保・大島規江・尾崎久美子・小島友里「ライデン大学シーボルト収集古地図の調査報告「黒龍江中洲并天度」を中心に」.31 回国絵図研究会(東京大学福武ホール), 2012.3.31.

藤田裕嗣・礪永和貴・出田和久・上杉和央「大学町ライデンにおけるライデン大学図書館所蔵シーボルト地図コレクション」31 回国絵図研究会(東京大学福武ホール), 2012.3.31.

倉地克直「ライデン大学所蔵の因幡国絵図・伯耆国絵図をめぐって」31 回国絵図研究

会 (東京大学福武ホール), 2012.3.31.

山形大学・農学部・准教授

研究者番号 : 50601390

6 . 研究組織

(1)研究代表者

小野寺 淳 (ONODERA, Atsushi)

茨城大学・教育学部・教授

研究者番号 : 90204263

(2)研究分担者

平井 松午 (HIRAI, Shougo)

徳島大学・ソシオ・アーツ・サイエンス研究部・教授

研究者番号 : 20156631

小田 匡保 (ODA, Masayasu)

駒澤大学・文学部・教授

研究者番号 : 70224243

上杉 和央 (UESUGI, Kazuhiro)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号 : 92204263

大島 規江 (OSHIMA, Norie)

茨城大学・教育学部・准教授

研究者番号 : 90420661

(3)連携研究者

磯永 和貴 (ISONAGA, Kazuki)

東亜大学・人間科学部・教授

研究者番号 : 10201922

出田 和久 (IDETA, Kazuhisa)

奈良女子大学・研究院人文科学系・教授

研究者番号 : 40128335

倉知 克直 (KURACHI, Katunao)

岡山大学・名誉教授

研究者番号 : 90115840

杉本 史子 (SUGIMOTO, Fumiko)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号 : 10187669

藤田 裕嗣 (FUJITA, Hirotsugu)

神戸大学・大学院人文学研究科・教授

研究者番号 : 10181364

鳴海 邦匡 (NARUMI, Kunitada)

甲南大学・文学部・准教授

研究者番号 : 00420414

渡辺 理絵 (WATANABE, Rie)